

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年11月08日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2012000018"/>	整理番号 <input type="text" value="11705"/>	担当者 <input type="text" value="小野 洋一"/>
表 題	<input type="text" value="人工角膜及び人工角膜の生産方法"/>		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="再生医療"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="人工角膜"/>		
目 的	<input type="text" value="入手困難な角膜の代用として、簡便に作製でき、かつ拒絶反応や感染リスクの極めて低い安全な人工角膜を作製する。"/>		
技術概要	<input type="text" value="自己生体組織由来のコラーゲンシートを角膜実質内に移植し、人工角膜としての有用性を示した。シロン基材を生体の皮下に埋没し1ヶ月後に基材とその周囲に形成されたコラーゲンシートを摘出した。レシピエントの角膜実質にポケットを作製し、生体組織由来コラーゲンシートを角膜ポケット内に挿入した。移植前の角膜は透明(スコア0)で、角膜厚は348.8 ± 4.0 μmであった。移植直後より移植部位の角膜の透明性の低下(スコア3 ± 0)と角膜の肥厚(726 ± 131.0 μm)がみられ徐々に改善した。移植後8週では透明性スコア0.6 ± 0.6、角膜厚447 ± 46 μmとなった。移植したコラーゲンシートのコラーゲン線維直径は移植後8週では直径の減少と均質化がみられ、炎症細胞の浸潤は認められなかった。生体組織由来コラーゲンシートにより作成した人工角膜は高い生体適合性を有した。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	役職 <input type="text"/>		
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp